

令和4年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名	自治体行政スマートプロジェクトの実施に要する経費			担当部局庁	自治行政局		作成責任者			
事業開始年度	令和元年度	事業終了 (予定) 年度	令和3年度	担当課室	行政経営支援室		室長 浦上哲朗			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省設置法第4条第1項第24号			関係する 計画、通知等	AI戦略2021、自治体DX推進計画					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	今後の労働力の供給制約の中、地方自治体が住民生活に不可欠な行政サービスを提供し続けるため、AI(※1)・RPA(※2)等が処理できる事務作業はAI・RPA等が自動処理するスマート自治体を実現し、職員が、企画立案業務や住民への直接的なサービス提供など職員でなければならない業務に注力できるよう環境を整える。 (※1)Artificial Intelligence。人工知能。(※2)Robotic Process Automation。パソコンのマウスやキーボードの操作のソフトウェアによる自動化。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	自治体の基幹的な業務(住基・税など)について、人口規模ごとに複数自治体による検討グループを組み、そのグループ内で、業務プロセスの団体間比較を実施することで、AI・RPA等のICTを活用した業務プロセスモデルを構築する。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	139.4	139	0	0				
		補正予算	-	139	0	-				
		前年度から繰越し	-	-	139	-	0			
		翌年度へ繰越し	-	▲ 139	-	-				
		予備費等	16.5	-	-	-				
	計		155.9	139	139	0	0			
	執行額		155.9	135.7	135					
	執行率 (%)		100%	98%	97%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		112%	49%	#DIV/0!						
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	行政体制整備業務庁費		-	-						
	委員等旅費		-	-						
	職員旅費		-	-						
	諸謝金		-	-						
	計		0	0						
活動内容 (アクティビティ)	団体間業務比較によるAI・RPA等のICTを活用した業務プロセスモデルを構築するために、地方団体に対してモデル構築を委託する。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	AI・RPA等のICTを活用した効率的な業務プロセスモデルを構築する	構築された効率的な業務プロセスモデル事業数	活動実績	事業	8	5	5	-	-	
			当初見込み	事業	7	5	5	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	業務プロセス標準化に係る委託費執行額 /モデル事業数			単位当たり コスト		17.4	27.1	27	0	
				計算式	/	122.0/7	135.6/5	134.9/5	0	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 4 年度	
	AI・RPAの導入地域数を2022年度までに600団体	AI・RPAの導入地域数	成果実績	団体	286	535	-	-	-	
			目標値	団体	150	300	600	-	600	
			達成度	%	190.7	178.3	-	-	-	

根拠として用いた統計・データ名 (出典)		・地方自治体におけるAI・RPAの実証実験・導入状況等調査 https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/top/local_support/ict/#ai			
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載				<input type="checkbox"/> チェック	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	II 地方行財政		
		施策	1. 分権型社会にふさわしい地方行政体制整備等	政策評価書 URL https://www.soumu.go.jp/main_content/000766411.pdf 該当箇所 2ページ	
	新経済・財政再生計画改革工程表	取組事項	分野:	地方行財政改革	1. 持続可能な地方行財政基盤の構築
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/031223_divided/report_211223_2_2.pdf	該当箇所 P78
事業所管部局による点検・改善					
国費投入の必要性	項目		評価	評価に関する説明	
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		<input type="radio"/>	AI戦略2021、自治体DX推進計画等において、次世代型行政サービスの早期実現や行政のデジタル化が掲げられ、その中で、自治体におけるICT技術を活用した業務プロセスのBPR等に関する事項が盛り込まれていることから、政府として本事業を実施する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		<input type="radio"/>	同上	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		<input type="radio"/>	同上	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		<input type="radio"/>	委託先を募集するに当たっては公募をしていること、採択に当たっては外部有識者を交えた審査会を実施していることなど、選定は妥当である。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		<input type="radio"/>	当初予定の範囲内である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		<input type="radio"/>	モデル構築に必要な経費であり、限定的である。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		<input type="radio"/>	成果目標を上回る成果実績となっていることから、妥当である。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		<input type="radio"/>	当初見込みどおりの実績が出ていることから妥当である。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		<input type="radio"/>	構築されたモデルの報告書をHPで公開し、また地方公共団体が主催する研修会で構築過程で得られた知見等を説明するなど、活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	
	事業番号		事業名		
点検・改善結果	点検結果	分権型社会にふさわしい地方行政体制の整備に関する重要な事項であり、業務上必要最小限の経費で適切に執行されている。			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
点検対象外口					

行政事業レビュー推進チームの所見

終了予定

令和3年度で事業終了。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

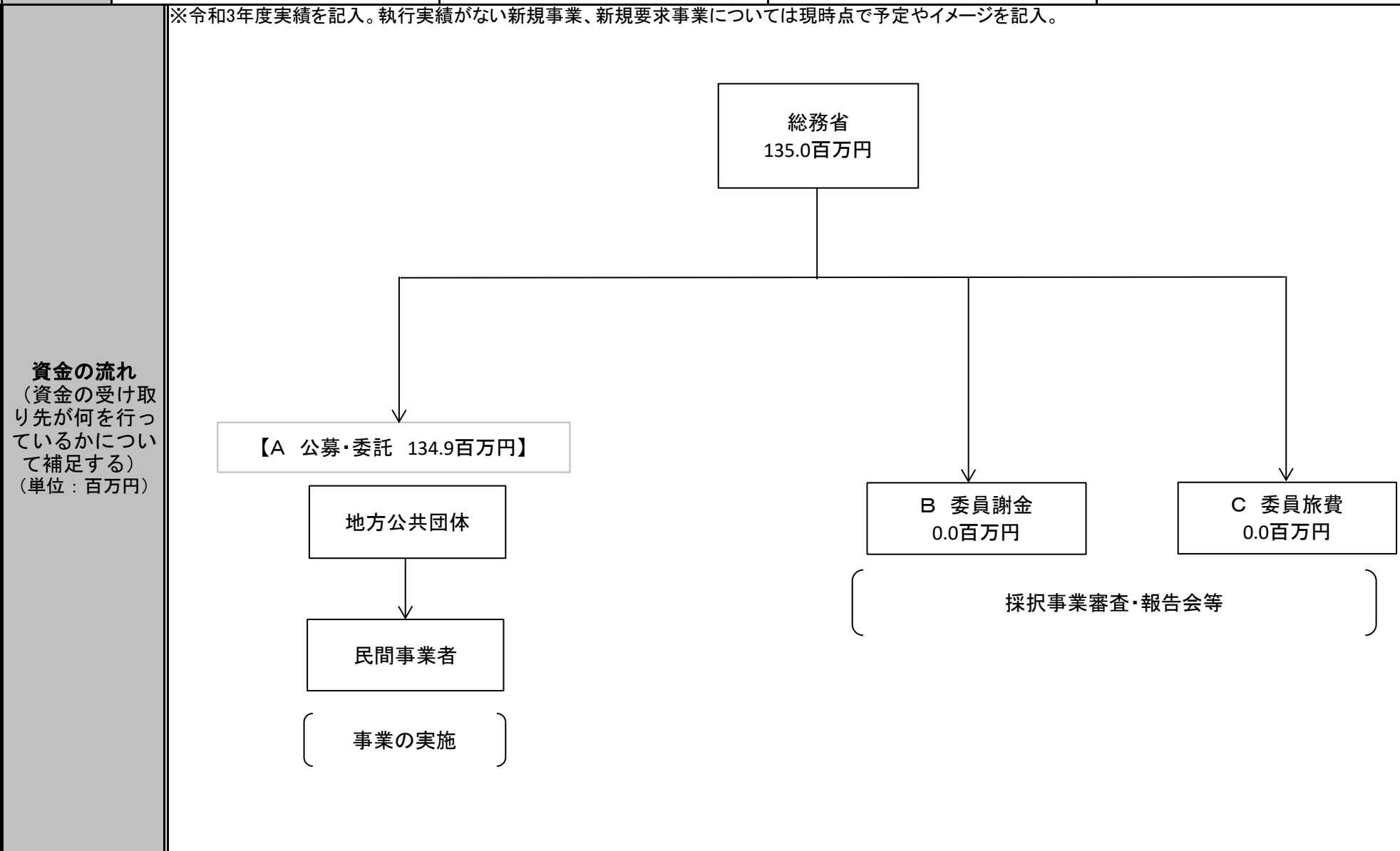
備考

令和3年度で事業終了。

関連する過去のレビューシートの事業番号

令和元年度	総務省 - 新31 - 0001		
令和2年度	総務省 0012		
令和3年度	2021 総務 20 0010		

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



A.			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
庁費	自治体行政スマートプロジェクト委託費	134.9	委員等謝金	支出額が100万円未満	
計		134.9	計		0
C.			D.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
委員旅費	支出額が100万円未満				
計		0	計		0

費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

